

## 目次

### Contents

	03	はじめに
■第1章	05	世界の動物たちのいる場所・きた道
	06	動物が証明する大陸移動
	07	世界の動物地理区
	14	遠く離れて分布する動物
	15	コラム
■第2章	17	動物たちが多様であるしくみ
	18	「種」とは何か?
	20	なぜ、複数の種が共存できるのか?
	23	なぜ、さまざまな形をしているのか?
	27	コラム
■第3章	29	本州のガラパゴス：鳥取県
■論考集	31	鳥取県を中心とした中国地方における両生類の地理的分化 ー松井正文ー
	36	鳥取県東部地域におけるカジカガエルの二つのタイプの分布様式 ー細井光輝ー
	39	‘カワトンボ線’の動物地理学的意義 ー鈴木邦雄ー
	47	鳥取県およびその周辺におけるセトウチフキバッタ群の地理的変異 ー川上 靖ー
	49	日野川と千代川が産み出す生物多様性 ー鶴崎展巨ー
	54	コラム
■第4章	55	動物たちと私たち
	56	動物たちは、今
	57	「物語」の終わりに...
	58	付録

## 凡例

### Notes

- 1 この展示解説書は、2003年7月20日から8月24日までを会期として、鳥取県立博物館が開催する特別展「世界どうぶつ物語ー動物地理学で語る鳥取から世界までー」の解説書として作成した。
- 2 本解説書は、ほぼ展示場のテーマ順、コーナー順に構成しているが、展示資料のすべてを紹介していない。また、第4章には学習用・体験用のコーナー展示も多く含まれているため、展示解説書では一部しか紹介していない。
- 3 本解説書に掲載された資料のうち、借用資料には所蔵者名を記した。鳥取県立博物館の所蔵資料は「当館蔵」とした。
- 4 本解説書中の写真のうち、撮影者名、提供者名のないものは、著作権フリー画像を使用した。
- 5 解説書は、第3章とコラムの分担執筆部分を除くすべてを川上靖(鳥取県立博物館学芸員)が執筆した。ただし、第2章は、川上靖・鶴崎展巨(鳥取大学教授)の共同執筆である。
- 6 第3章は「論考集」である。執筆者の氏名と所属は各論考に記されている。
- 7 本解説書は、第3章「論考集」を除き、おもに動物地理学の視点から世界という広い範囲をあつかっている。そのため、解説が概略的であったり、単純であったりする。それを補うため、各章末に「参考図書ー詳しく学ぶためのブックガイドー」を載せた。
- 8 「参考図書ー詳しく学ぶためのブックガイドー」は、読みやすいと思われる順に並べた。